

# 太陽誘電株式会社



Gunma Intercultural  
Co-creation Company



育成の観点を取り入れた出向制度により  
グローバルに活躍できる人材を創出

■業種：製造業（電子部品）

■所在地：高崎市など

■従業員数 二八五七名 うち外国人材 一五九名

「在留資格：技術・人文知識・国際業務七四名、

技能実習五一名、企業内転勤ほか三四名」

「国籍：中国、台湾、フィリピン、マレーシア、

インド、韓国」※二〇二四年三月現在

■ホームページ：太陽誘電株式会社（外部リンク）

## 「違いこそ価値」

### ダイバーシティの推進

「違いこそ価値、一人一人が輝ける会社へ」をスローガンに掲げ、従業員全員の個性を認め、誰もが働きやすい企業を目指しています。外国人材の積極的な採用と育成、女性活躍や障がい者雇用の推進など、太陽誘電グループが持続的に発展していくために必要なことは何か、常に考えながら取り組んでいます。

## 海外拠点から日本へ

### 「グローバル出向制度」

一九六〇年代に海外子会社を立ち上げ、今では生産拠点と販売拠点を含め、アジアと欧米を中心に十三の国と地域の方々と一緒に仕事をしています。多様なグループが効率的に機能していくためにも、外国人材の継続的な採用と育成は必要不可欠であることから、育成の観点を取り入れた「グローバル出向制度」を二〇二二年から開始しました。



出向と聞くと「業務一〇〇%」というイメージが強いかと思いますが、このグローバル出向制度は「業務五〇%、育成五〇%」となっており、育成要素が含まれているところが特徴です。

出向者には日本拠点の技術や仕事の進め方などを学んでもらいます。海外拠点に戻ったら日本で身につけたスキルを展開してもらい、将来は拠点のリーダーとして活躍してもらうことを期待しています。

日本拠点にとっても、海外拠点の仕事に対する理解を深めることができたり、海外拠点と繋がりを持つことができたりと、良い効果が表れています。

## 日本語学校と連携した 日本語学習サポート

出向者には日本語で仕事をするスキルも身につけてもらいます。

太陽誘電では出向者の日本語学習をサポートするため、日本語学校から講師を招いて、週二回日本語教室を開催しています。日本語のレベルに合わせたクラス分けをしており、業務や日常生活で使う言葉を学ぶだけではなく、年二回実施されている日本語能力試験の対策も行っています。受験を通じて成果を実感してもらうことで、日本語学習のモチベーションアップに繋がっています。



日本語講師による日本語教室を  
受講している様子

出向者からは、「日本語教室のおかげで勉強する習慣が身についた」「日本語教室がなかったらどうやって勉強していいかわからなかった。参加することができてよかった」などの声をいただいています。

## 安心して生活を送るための 万全なサポート

生活支援全般については、グループ会社であるサンヴァーテックス株式会社が対応しています。

住居の手配を始め、家具家電や寝具、さらにはキッチン用品や清掃用具など、生活に直結するものもすべて用意しています。来日してすぐに生活がスタートできる環境を整えています。

来日後は、まず生活のオリエンテーションを行います。例えばごみの捨て方について、ルールを知らないと近隣住民とトラブルになりうるため細かく説明します。また、家電製品の使い方についてもレクチャーします。

各種行政手続きや在留カードの更新、銀行口座の開設における同行はもちろん、スーパーマーケットにも一緒に行き、買い物の仕方を教えることもしています。

オリエンテーションで説明した内容については、各国の方が理解できる言語に翻訳した資料を作成し、お渡ししています。

## 宗教への配慮

マレーシアから来ている方の半数近くがムスリムの方であるため、専用のお祈り部屋を設置したり、食堂での食材表記をしたりしています。他にも、フィリピンから来た方の中にはキリスト教徒の方もいるので、近くの教会を案内しています。

群馬で暮らす上で、自身の宗教や文化に対して負担を感じることがないよう心がけています。

.....

### 多文化共創カンパニー認証制度 申請のきっかけ

太陽誘電では、長きにわたって外国人材と親密に関わってきました。

これまでの一六〇〇人以上の技能実習生受入れ・育成を中心として、外国人材の育成に力を入れてきました。多文化共創カンパニー認証制度を通



じて、太陽誘電の取組を多くの事業者に知っていただくとともに、外国人材が太陽誘電で働きたいと思ってもらえるきっかけになればと思います。申請しました。

### 外国人材の活用を検討している 県内事業者へのメッセージ

日本の文化や習慣について分からないという外国人材の方が大半だと思います。この前提のもと、こちらの当たり前を押し付けることはせず、ゆっくり覚えていきましようと呼びかけるような気持ちを持って接することが大切だと思います。

グローバル出向制度は二〇二二年に五名でスタートしましたが、制度創設時は大変苦労しました。関係者と協力して知恵を出し合いながら、外国人材が快適に仕事に取り組める制度となるよう改善してきました。

外国人材の活用は、海外拠点・日本拠点ともに人材育成や組織の活性化にも役立ちます。グローバル化が一層進んでる世の中ですので、ぜひ一緒に頑張りましょう。

## 太陽誘電で活躍する外国人材を紹介！



### ジョージさん(マレーシア出身)

グローバル出向制度は、日本の技術や知識を学べる素晴らしい制度です。マレーシアでは知り合うことのできない日本本社の社員と交流できることにやりがいを感じます。また、日本語教室のおかげで、来日当初よりも日本語のレベルが上達しました。



### マルガさん(フィリピン出身)

現在人事企画部に配属されており、海外生産拠点における人事プロセスや人材構造の比較を行っています。将来は、日本で学んだことをフィリピンの拠点に持ち帰り、フィリピンにおける太陽誘電の企業ブランドやイメージの向上に貢献していきたいと思っています。